

# Action!

ワクワクしよう、東工大。





# Action Plan 2018-2023 挑み続け、未来を創る東工大

東工大が掲げた長期目標「世界最高の理工系総合大学の実現」に向け、2017年には東工大に集う我々が何者かを表す「東工大ステートメント (Tokyo Tech 2030)」を、2018年には世界に伍していくために如何に取り組むかを示した「東工大コミットメント2018」を発表しました。その実現のために、学内での対話を繰り返しながら、より具体的な取り組みをまとめたのが「東工大アクションプラン2018-2023」です。教職員、学生、同窓生が一丸となり「Team 東工大」として実行 (Action!) していきます。

東京工業大学長

谷一哉



## //////// Action Plan 1 //////////

創造性を育む  
多様化の推進

## //////// Action Plan 2 //////////

Student-centered  
learning の推進

## //////// Action Plan 3 //////////

飛躍的な研究推進で  
社会に貢献

## //////// Action Plan 4 //////////

経営基盤の強化と  
運営・経営の効率化





## 多様性を活用する。

国籍、性別、文化的背景…。さまざまな個性が会い、対話し、それぞれの興味や感性をより尖らせていく。“serendipity”が発揮されやすい環境をつくることで、これまでになかったモノ・コトをつぎつぎと創造していける大学をめざします。

創造性を育む  
多様性の推進

- “多様性の効果”を活かし、「新しい発見を楽しめる東工大」を実現
- 新たに創出される学術分野や自由な議論の場の魅力に基づき、教員・研究者の多様性を促進
- 意欲ある学生を受け入れるための新たな仕組みや学生本位の教育により、学生の多様性を促進



## 主体性を刺激する。

よりよい社会、よりよい未来を創るリーダーを輩出するために、自身の興味や関心に基づいて教育プログラムを選択できる仕組みを整えます。また、独創的なアイデアや身に付けた技術で新しい市場を切り拓く起業家を育成するための教育環境や支援制度も充実させていきます。

Student-centered  
learningの推進

- 東工大流教養教育と専門教育の深化による「驚き」を与える教育
- 興味・関心のある教育プログラムを学生が主体的に選択
- リーダーとして存在感を示す「幸せな」博士を育成する大学院教育
- 「学位より起業」という学生の志も積極応援
- 育成すべき人材像を考え、東工大で学ぶ意欲と能力ある学生を受け入れる仕組みを検討



ワクワクする  
未来社会

驚きを与える  
発見

豊かな  
世の中



## 革新を現実化する。

新たな知の発見、新たな技術の発明へ。研究者が個々に、あるいはグループで、真剣にかつ生きがいを感じつつ研究を進められる環境をつくります。研究活動で社会に感動を与えるような「攻めの基礎研究」と、研究成果を積極的に社会実装に結びつける「攻めの産学連携」を推進していきます。

飛躍的な研究推進で  
社会に貢献

- 人類の持続的発展のための革新的科学技術の創出
- 未知の領域を切り拓く挑戦心と気概を持って真理を探究し、新たな知を創出
- 研究の成果を、社会との積極的な連携に基づき社会実装し、未来社会の礎を提供
- 科学技術のファシリテーターとして、科学技術のおもしろさ、大切さ、素晴らしさを世界へ発信

Effectiveness



## ROIを最大化する。

経営の視点で教育研究を推進します。社会の信頼を得て投資を呼び込み、社会に返す価値 (Return on Investment = ROI) の最大化へ。「世界でもっとも高い付加価値を生む大学」としてのブランドを確立していきます。

経営基盤の強化と  
運営・経営の効率化

- 教育研究活動のコスト分析、効果評価と情報発信
- コスト・効果評価に基づく執行部・部局等ごとの教育研究活動の戦略的遂行と、メリハリのある業務運営による教職員の自由な活動時間の確保
- 「世界でもっとも高い付加価値を生む大学」としてのブランドの確立



# Mission



Tokyo Tech

## 東工大の 使命

東京工業大学は、広く理工学分野における研究者および教育者、さらには産業界における技術者および経営者として指導的役割を果たすことのできる、善良・公正かつ世界に通用する人材を育成することを使命とします。

その使命のもと、必要な一般的教養、専門的知識および倫理観を教授するとともに、理工学分野を中心とする学術に関する基礎から応用までをあまねく研究し、深奥を究めて科学と技術の水準を高め、もって文化の進展に寄与し、我が国および世界の平和と発展に貢献します。

教育ポリシー・研究ポリシー・国際戦略等

Who we are

東工大ステートメント 2030

2016年度策定

長期目標

### 世界最高の理工系総合大学

2004年度 法人化時に策定

### 2030年世界トップ10の リサーチユニバーシティ

2015年度策定

2030年に  
向けての目標

指定国立大学法人構想

### 3つの目標

2018年度策定

1. 教育研究の卓越性に関する目標
2. 教育研究の卓越性と社会・経済への貢献に関する目標
3. 社会・経済への貢献に関する目標

### 2022年度から2027年度 第4期中期目標・ 中期計画

### 2016年度から2021年度 第3期中期目標・ 中期計画

How we do

2018  
東工大  
コミットメント

What we do

2018-2023  
東工大  
アクションプラン

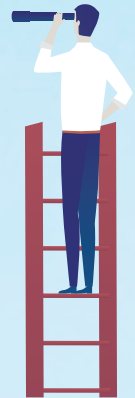
## 平成の改革

目標実現のための

# Who・How・What

Who we are.

東工大ステートメント 2030



ちがう未来を、見つめていく。

2016年4月の組織改革を経て、私たちは東工大にどんな未来を描き、社会に何を届けていくのか。役員・教職員・学生が参加したワークショップを通じて、2030年に向けたステートメントを策定しました。

How we do.

東工大コミットメント 2018



### ▶ 多様性と寛容

多様性（国籍、年齢、性別、研究スタイルなど）をもった構成員が集い、その多様性を互いに受け容れ、尊重する。

### ▶ 協調と挑戦

互いに協力し、時には切磋琢磨しながら新しいことへの挑戦を続け、社会へ貢献する。

### ▶ 決断と実行

改革により整備した教育、研究、ガバナンス体制を活かし、スピード感をもった決断と実行により常に世界から期待され、その期待に応える。

What we do.

東工大アクションプラン 2018-2023



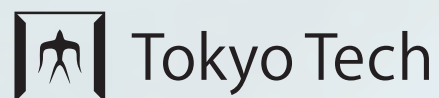
＼アクションプランが目指すもの／

挑み続け、  
未来を創る東工大

4  
つの  
柱

- 創造性を育む多様化の推進
- Student-centered learning の推進
- 飛躍的な研究推進で社会に貢献
- 経営基盤の強化と運営・経営の効率化

「東工大アクションプラン  
2018-2023」等について  
詳しくはこちらから



<https://www.titech.ac.jp/about/>

